



かけはし

第54号

平成30年10月1日発行
 発行人:川辺清三
 編集責任者:横山 滋

第22回 夏休み子どものつどい 移動動物園の大賑わいの

8月19日(金)溝口南公園に3年ぶりに「移動動物園」がやってきた。この2年間、天候不順で中止されてきたが、前日までの猛暑と打って変わってすがすがしい青空が広がり、公園近くの保育園の子どもや保護者など約800人で大賑わいになった。

福田牧場(高津区新作)からやって来た動物たちは、ひよこ・うさぎ・モルモット・にわとり・めん羊・ヤギ・カメ・あひるなど小動物と乗馬用のポニーの約10種類。



子どもたちは、スタッフからキャベツやニンジンの餌をもらい、思い思いに動物たちに

食べさせていた。ひよこ、うさぎ、ハムスターはバスケットに入れ、ひざの上に抱いて、そっと撫でたり触れて楽しんでた。ポニーに乗って一周する



コーナーは順番を待つ長い列。



降りる前ではピースサインをしてにっこり。お母さんがスマホでパチリ。

笑顔の連鎖が広がった。子どもたちにはジュースが配られ楽しいイベントになった。



高津区民祭 テントラちゃんウチワが人気

いのちに危険と言われるほどの酷暑の7月29日、高津区民祭が行われました。実行委員会が主催し夏の風物詩として45回目。女性白バイ隊や消防音楽隊などを先頭に51団体がパレードに参加。高津区第一地区社会福祉協議会もその一員として沿道の市民にPR活動を行った。人気だったのは「テントラちゃんウチワ」。地元出身の歌手 桜井純恵さんが熱唱した「テントラちゃんは行く」も大きな拍手を受けました。



「福祉のパートナー」をアピール

一人暮らし高齢者のつどい

第182回 春の歩こう会で緑が丘霊園へ

4月2日(月) 65名が参加。大山街道ふるさと館を出発し、目的地まで桜並木をゆっくりと散策。噴水付近、大きな桜の木に囲まれて昼食。爽やかな風と笑顔に溢れた一日でした。



第183回 ギターの演奏を楽しむ

5月10日(木) 大山街道ふるさと館で66名の参加。献立は、煮物・ほうれん草の胡麻和え・豚汁・デザート。期待のアトラクションは、会員の松下正春さんのギター演奏に合わせて懐かしい歌の数々を全員で合唱しました。



第184回 短冊に願いを込めて

7月6日(木) 大山街道ふるさと館で77名が参加しての七夕祭り。思い思いの願い事を短冊に書いて笹に取り付けました。献立は、カレーライス・サラダとデザート。アトラクションでは全員で青春ソングを合唱しました。



高津区保護司会の活動

- 4/10 高津区保護司会総会開催
- 6/26 社会貢献活動※ 実施
猛暑の中、生田緑地内民家園で対象者とともに草むしりを行いました。
※保護観察中の人(対象者)たちが、地域社会に貢献する活動を行うことを通じて立ち直ることを目的としています。社会の役に立つ体験を通じて、人の役に立てるといふ感情や社会のルールを守る意識を育みます。
- 6/26 「ダメ・ゼッタイ」普及街頭キャンペーン実施
溝ノ口キラリデッキで「ダメ・ゼッタイ」を合言葉に覚醒剤、大麻、危険ドラッグ等の薬物乱用防止を訴えました。
- 7/10 社会貢献活動実施
等々力緑地スタジアム周りのごみ拾い
- 7/29 高津区民祭において街頭キャンペーン、パレードを実施
- 8/5 橘ふるさと祭りで「薬物乱用防止・交通安全」キャンペーンを実施
- 8/16 社会貢献活動実施 等々力緑地スタジアムの座席回りのごみ拾い
- 9/11-12 県外視察研修(名古屋刑務所)
- 9/25 公立中学校生徒指導担当教諭と保護司との連絡協議会

デッキイも 見つけた

6月2日(土)「親子いもほり体験」が西高津保育園の園児と保護者、職員など95名を招いて開催された。小野里園長は、「来年3月、閉園の予定で園としては“最後のいもほり体験”です」と挨拶。農地提供者で高津第一地区社協前会長の河原勇さんは、「今年の作柄は順調。どんないもが取れるかな」と子どもたちに語り掛けました。

清々しい風と青空のもと、子どもたちは一斉に畑へ。お父さんやお母さんと一緒に茎を引っ張り、ジャガイモが顔を出すと大きな歓声を上げていました。



災害は忘れる前に やってくる 想定外を想定しよう

7月初旬、西日本豪雨では、200名を超える死者行方不明者を出す大被害が発生しました。最近の気象発表も「数十年に一度の降雨量」「重大な土砂災害や浸水害が予想」「命を守る行動を」など深刻な表現が増えました。

風速50メートルや時間降雨量100ミリなどひと昔前には考えられなかった数字です。この背景には、地球温暖化があることはほぼ確実でしょう。加えて高い確率で予想される首都圏直下型地震の発生も心配です。

これまで想定外であったことが不意打ちで起きるような時代です。災害地での助け合いにボランティアの皆さんが活躍していますが、組織的には社会福祉協議会の支援活動に支えられています。私たちの地元にも多摩川があり、想定される氾濫に対して川崎市では防災地図(ハザードマップ)が用意されています。最悪を想定し、日頃の対応を考えておきたいものです。

① TV ラジオその他広報で災害情報を正しくとらえておきましょう。

② 避難場所など緊急の対応を確認しておきましょう。

③ 食料品の備蓄7日分を準備しましょう。

④ 近隣の住民同士の助け合いや情報交換の連絡網を大切にしておきましょう。

「災害は忘れた頃にやってくる」は昔の話。いまは「忘れる前にやって」きます。「想定外の災害を想定する」ことから守りの行動を始めましょう。

高津区役所で配布。
危機管理担当
☎ 044(861)3146



第29回 たかつ区健康福祉祭り 支えあいの地域づくり

7月7日(土) 会場のでくのかわさきは、梅雨明けの猛暑の中、1200人を超える来場者で大いに賑わいました。この活動は、区内社会福祉団体の協力による行事で、高齢者や子ども、障害者、市民が交流を深め、支えあう地域づくりを目的としたイベントです。かき氷のサービス、参加団体の手作り品の販売やバザー、骨密度・



坂戸小合唱団

血管年齢の測定などが行われました。ホールでは全国合唱コンクール神奈川大会で金賞に輝いた坂戸小合唱団や洗足学園音楽大学生のコンサート、ボランティアの落語披露がありました。スタンプラリー参加者は抽選で豪華な賞品を受け、楽しく有意義な一日でした。

町会の未来を担う絆の構築

久地第三町会は多摩区に隣接しJR久地駅を中心に、東西700m 南北300m、二ヶ領本川と旧府中街道添いに、久地小学校と大小のマンションを含め約800所帯の会員の方々に支えられています。

本町会も、時代の流れと共に、世帯数は増加傾向に在るものの会員数は微増に過ぎず、地域の絆が希薄に成りつつあります。そんな中、町会では老人会（きらく会）を中心に、年間を通じ駅前や広場の花壇の植え替えや緑化活動を進め、行きかう人を楽しんでもらっています。また、未来を担う子供たちの将来を見据え、子供会の活動に力を注ぎ、特に少年野球部（久地第三レッズ）は高津区大会優勝、市大会出場と輝かしい成果を取っています。



また、8月3日・4日の両日、盆踊り大会を久地駅横の駐車場で盛大に開催されました。会場は昔懐かしい屋台が並び、やぐらの上の太鼓と共に老若男女が夏の夜の一夜の涼を楽しみました。この盆踊りは、55年以上の歴史があり、町会の絆の構築に大いに役立っています。



賛助会員拡大にご協力を

日本は、2025年には75歳以上の高齢者が5人に1人、全人口の18%になることがほぼ確実な予想です。こういう社会にあってお互いの助け合いや福祉活動はより一層大切になり、この推進役の一端を社会福祉協議会が担っています。高津第一地区社会福祉協議会（溝口・久地・宇奈根）の地域は約1万5千世帯、人口約3万人が暮らしています。

第一社協では、一人暮らしの高齢者の会食会や歩こう会、夏休み子どものつどい、救命講習、敬老慰問など幅広い活動を行っています。活動費用は、一部行政からの支援もありますが大部分は有志の皆様（企業団体を含む）による賛助会費というご厚意に支えられています。ちなみに2017年度はこの賛助会費が113万5千円（1口千円）となりました。制度として、各地区の賛助会費はそのうち3割を高津区全体の社協活動に、7割を第一社協自体の福祉活動に使うしくみになっています。ますます増えていく地域福祉の需要に対し、財源の確保が急務となっています。

近く高津区社協が中心になって「地域福祉懇談

会」が設立され、高齢化社会での地区社協のあり方など多方面の論議が行われます。幅広い住民同士の協力の実現に向けて皆様のご協力をお願いします。

平成30年度 高津区社会福祉協議会

賛助会員加入に

ご協力をお願いします

社会福祉協議会(社協)とは…… 賛助会員とは……

社会福祉協議会(社協)とは、社会福祉法に基づき設置されています。町内会・自治会、民生委員児童委員、ボランティア・当事者団体、福祉施設などに会員となつてもらい、互いに協力・連携して地域福祉の推進に取り組んでいます。

社会福祉協議会(社協)の事業や活動に賛同いただいた。個人・企業・団体のみならず社会的に支えていただくものが「賛助会員」です。

賛助会員に寄与利益が生じるわけではなく、公益(社協)に賛助会費は、区内の福祉活動に活用する形で地域に還元されます。

編集後記

この夏は命さえ危険になるような暑さが続き、平成30年7月豪雨は自然の驚異を目の当たりにした。毎日台風が発生するような週もあり、人為的な地球温暖化の影響も強く感じられる。ひとりができることは小さいが、少しでもできることから始めたい。〈Y〉

編集委員 横山滋・望月正一・小竹正美・佐野せつ子
若林豊茂美・矢島真理子・本多栄治

高津第一地区社会福祉協議会 事務局
高津区溝口1-6-10 てくのかわさき3F
TEL. 044-812-1879 FAX. 044-612-3548